

4月14日 緑のふるさと協力隊着任挨拶

## 人と関わり成長したい

「緑のふるさと協力隊」(NPO法人地球緑化センターが派遣)として本市では14人目の隊員となる、浦川実咲(20)さんが、とびあ庁舎で本田市長に着任のあいさつをしました。浦川さんは茨城県出身で、本年3月に青山学院女子短期大学を卒業。宮守町を拠点に、さまざまな地域づくり活動に取り組めます。



本田市長と対面する浦川さん

4月16日 とおの松寿会設立15周年記念福祉寄席

## 落語で介護のコツ伝授

遠野長寿の里などを運営する社会福祉法人とおの松寿会は設立15周年を迎え、記念事業として寄席を開催。林家源平師匠が介護の実体験を基にした創作落語を披露し、訪れた100人の笑いを誘いました。同日は記念式典も開催。施設運営に貢献した人に表彰状や感謝状を贈り、法人のさらなる発展を誓いました。



軽快な語りで笑いを誘う源平師匠

4月23日 JR釜石線「SL銀河」が運転再開

## SL銀河ようこそ遠野へ

本年で3年目となる、JR東日本によるSL銀河の定期運行(JR釜石線花巻一釜石間)が再開され、停車する宮守駅と遠野駅では市民によるお出迎えが行われました。郷土芸能やカントリーダンスの披露、餅振る舞い、馬との記念撮影、昔話の披露など、遠野ならではのおもてなしで、県内外の乗客を歓迎しました。



餅振る舞いで乗客をおもてなし

4月10日 遠野エコセミナー2016

## 松枯れをみんなで防ごう！

NPO法人遠野エコネットは同セミナーを総合防災センターで開催し、松枯れ対策の事例報告のほか、森林総合研究所の中村克典氏による講演などを行いました。中村氏は松枯れのメカニズムや防除方法などを解説。「松枯れ対策には行政や山林所有者だけでなく、地元の理解と協力が必要」と訴えました。



松枯れについて説明する中村氏

4月15日 特別養護老人ホームみやもり荘で誕生会

## 宮守町の君崎ナオさん100歳

君崎ナオさんの誕生会が入所しているみやもり荘で開かれ、家族や施設職員が祝福。玄孫(やしよご)の浅沼心空ちゃんが踊りを披露すると、ナオさんは笑顔を見せていました。ナオさんは大正5年に綾織町に生まれ、18歳で米蔵さん(故人)と結婚。子ども8人を育て上げ、現在はひ孫・玄孫24人に恵まれています。



笑顔のナオさん(左)と心空ちゃん

4月16日 若者らが自転車イベント開催

## 市内をぐるっと自転車で

綾織スポーツクラブが主催する自転車イベントが開かれ、参加した若者らは、さっそうと春の遠野路を駆け抜けました。コースは綾織地区センター発着で、小友、上郷、青笹、土淵、附馬牛を巡る、約80kmの難コース。参加者は励まし合いながら自転車を駆り、体力作りを兼ねた若者同士の交流を楽しみました。



峠の頂上でハイ、チーズ！

3月18日 遠野の茅場が文化庁「ふるさと文化財の森」に設定

## 遠野の「カヤ」がお墨付きに

国宝や重要文化財などの文化財建造物を修理する際に必要な資材を確保するため、文化庁が設定する「ふるさと文化財の森」に、本市の茅場(合計約9.5%、設定名は遠野茅場)が選ばれました。茅はススキのことで、屋根葺きに用いられます。茅場は、綾織・小友・附馬牛・宮守の計6カ所に点在し、遠野かやぶき保存協会(照井文雄会長)が管理して

います。これまでに、伝承園内にある国指定重要文化財旧菊池家住宅などに使用されました。全国でも、上質な茅を一定量採集できる場所は少なく、遠野茅場は文化財の保存のために大切に残すべき地域資源です。照井会長は「遠野に伝わる茅葺き屋根の葺き替え技術とともに、茅場も地域の宝として後世に残していきたい」と抱負を語りました。



1\_認定された遠野の茅場(写真は綾織町) 2\_文化庁長官から認定証を受け取る遠野かやぶき保存協会の照井会長

4月10日 ウェディングパレス道で誕生会

## 青笹町の菊池キ工さん100歳

菊池キ工さんの誕生会が開かれ、家族や親戚らが祝福。本田市長が花束と記念品を贈呈すると、キ工さんは「ありがとうございます」と感謝しました。キ工さんは大正5年に上郷町に生まれ、18歳で善四郎さん(故人)と結婚。3男2女を育て上げ、現在はひ孫12人に恵まれ、自宅で穏やかに過ごしています。



本田市長と握手を交わすキ工さん

4月6日 春の全国交通安全運動・地域安全運動出発式

## 目指せ 安心安全の地域！

両出発式には、市交通指導隊員や市防犯隊員ら100人が出席し、啓発活動への決意を新たにしました。式では、新1年生を代表して太田健雄君と内田羽美ちゃん(いずれも遠野小学校)が、本田市長らから学童帽子などの啓発グッズ受け取り、「交通事故に遭わないように気を付けます」などと元気に誓いました。



啓発グッズを新1年生に贈りました

4月9日 宮守町の3保育園で入園を祝う会

## 笑顔で新保育園スタート

この春から遠野市保育協会(馬場克尚理事長)に運営移管された宮守町の旧市立幼稚園・保育所の3施設で、それぞれ入園を祝う会が開かれました。名称は、認定こども園宮守保育園(園児69人)、達管部保育園(同30人)、鱒沢保育園(同7人)に決定。出席した園児や保護者らは、新たな門出を祝いました。祝う会では、それぞれの園長が「みんな仲

良く元気に、楽しい園生活を送りましょう」とあいさつ。一人ひとりの名前が呼ばれると、園児は元気な声で返事をしていました。市立幼稚園・保育所の民営化は市村合併後の懸案事項でしたが、同協会との協議を経て運営移管について合意。昨年10月1日に開催された市政施行10周年記念式典で、運営移管に関する協定書の調印が行われていました。



1\_鱒沢保育園 2\_認定こども園宮守保育園 3\_鱒沢保育園 写真提供/遠野市保育協会

